令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

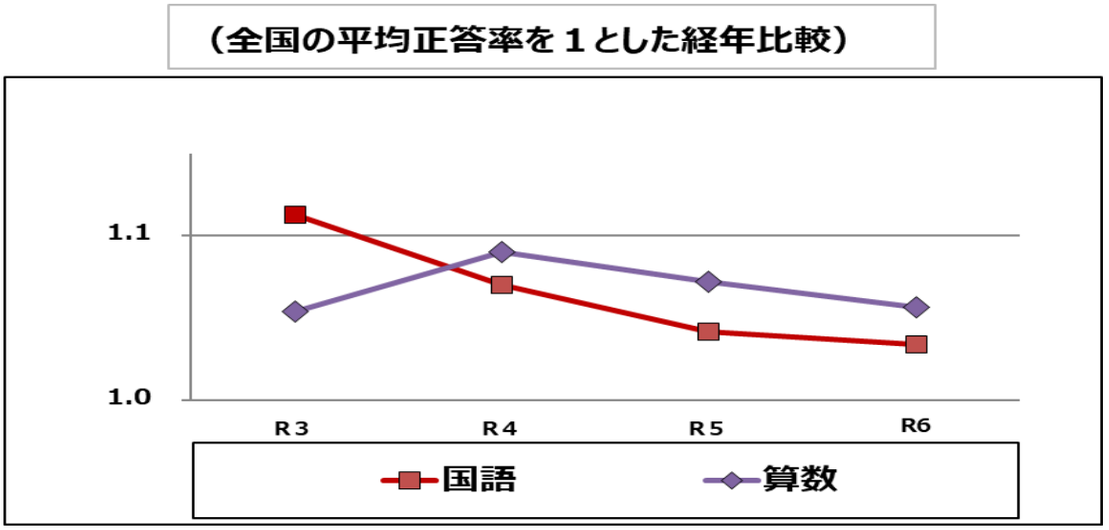
令和6年10月8日
枚方市立五常小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童（生徒）の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分です。

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の平均正答率（対全国比）をお知らせします。



＜学力調査結果の概要＞

○国語について

自分の考えなどを記述していても、必要な情報を取り出すことや表現の効果を考えることに課題が見られた。

→効果的な資質・能力の育成のため、記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動を工夫することが重要。

○算数について

図形や単位量当たりの大きさ（速さなど）について、深い理解を伴う知識の習得やその活用に課題が見られた。

複数の集団のデータ分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。

→日常の具体的な場面に対応させて、活用できる知識・技能を習得させることが重要。また、データの活用については、データを言葉と数を使って表現する力を身に付けさせることが重要。

国語科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

本問題全体の学習指導に当たって大切にしたいことは、
「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」

二　高山さんは、次の【高山さんの文章】の［　　］に、【高山さんの取材メモ】をもとにして考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたが高山さんなら、［　　］に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、１年生から６年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、３色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、ア「きょうぎ」の作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という２年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という５年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月１回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、６年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイ「なげる」ようにしています。

［　　］

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について
６年生がくふうしていること
　○遊びたいことを下級生に聞く
　○ルールをくふうする
　　ドッジボール　上級生は遠くからボールをなげる
下級生に聞いたこと
　○１年生　お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
　○３年生　好きな遊びや新しい友達が増えた
　○４年生　みんなが楽しそうでうれしかった

〈条件〉
○　「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
○　【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
○　六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

＜考察＞
目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題です。

全国の結果と比較すると、7.8ポイント上回る結果となりました。

設問の条件を満たした上で、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表すことができていました。

話し合いの場面では、自身の意見の根拠となる事実や記述を意識するよう、聞き手、話し手ともに意識する指導を今後も大切にしてきます。

【成果が見られた設問】

本問題全体の学習指導に当たって大切にしたいことは、
「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみること」

一　和田さんは、**【和田さんに届いたメールの内容】**を受けて、しょうかいする内容を、次の**【和田さんのメモ】**のように整理しました。和田さんは、どのように整理しましたか。その説明として最も適切なものを、下の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【和田さんに届いたメールの内容】

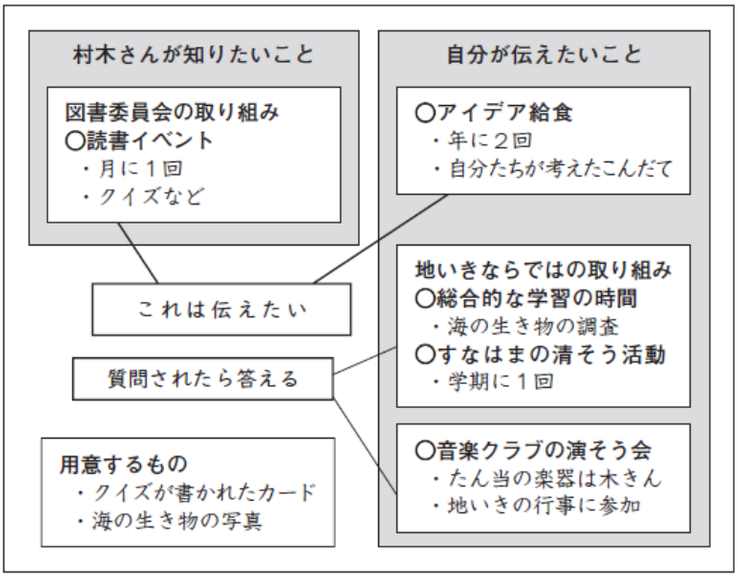
あて先　△△△@△△△△.△△.jp
件　名　オンライン交流について

海風小学校　和田　みなみさん

はじめまして。
深緑小学校の村木です。わたしの学校は、全校で105人います。学校の周りには、茶畑が広がっています。
今、わたしががんばろうと思っていることは、図書委員として、本が好きな子を増やすことです。
オンライン交流では、和田さんの学校の図書委員会の取り組みを教えてほしいです。
当日を楽しみにしています。よろしくお願いします。

深緑小学校　村木　かおる

【和田さんのメモ】



1　おたがいの学校の取り組みのよい点を比べて、伝えることを明確にした。

2　おたがいの学校の取り組みの問題点を比べて、伝えることを明確にした。

3　相手が知りたいことを取り入れて、優先して伝えることを明確にした。

4　自分が知りたいことを取り入れて、優先して聞くことを明確にした。

＜考察＞
目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題です。

全国の結果と比較すると、１１．１ポイント上回る結果となりました。

話すことにおいては、自分の目的や意図に応じるとともに、聞き手の求めていることに応じて集めた材料をどのように整理すればよいかを考えることが求められます。また、話す際の材料の整理だけでなく、聞くこと、話し合うことにおいても、聞いたり話し合ったりすることを具体的に考え、関係する材料を整理しておくことが重要です。

今回の結果から、目的や意図に応じて、伝え合う内容を考えることに一定の成果が認められました。このことから、これまで本校で取り組んできた「根拠を持って話し、質の高い聞き方を通して、新たな発見ができる子どもを育てる」教育の成果が表れていると考えられます。今後も指導の充実に努めてまいります。

算数科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

本問題全体の学習指導に当たって大切にしたいことは、
「統計的な問題解決の方法を進んで生活に生かすこと」

(4) こうたさんは、3月19日の卒業式の日までに、桜が開花してほしいと思っています。

桜がいつ開花するか知りたいと思い、桜の開花予想日について調べたところ、下のような**桜の開花予想日の求め方**を見つけました。

桜の開花予想日の求め方

① 2月1日から、毎日の最高気温の数値をたしていく。
② 毎日の最高気温の数値をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。

こうた

今日は3月16日です。桜はまだ開花していません。

桜の開花予想日の求め方の①のように計算すると、3月15日までの最高気温の数値をたした答えは549でした。

3月16日からの最高気温の予報は、下の表のとおりです。

3月16日から3月19日までの最高気温の予報

日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
最高気温（度）	21	20	15	14

こうたさんは、3月16日以降は予報どおりの最高気温になるとして、**桜の開花予想日の求め方**を使って、桜の開花予想日を求めました。

桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。

最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、［ ㋐ ］だから、
桜の開花予想日は3月［ ㋑ ］日です。

上の㋐に入る式を、下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の㋑に入る数を書きましょう。

1 549 + 21
2 549 + 21 + 20
3 549 + 21 + 20 + 15
4 549 + 21 + 20 + 15 + 14

＜考察＞

示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる問題です。

全国の結果と比較すると、9.3ポイント上回る結果となりました。

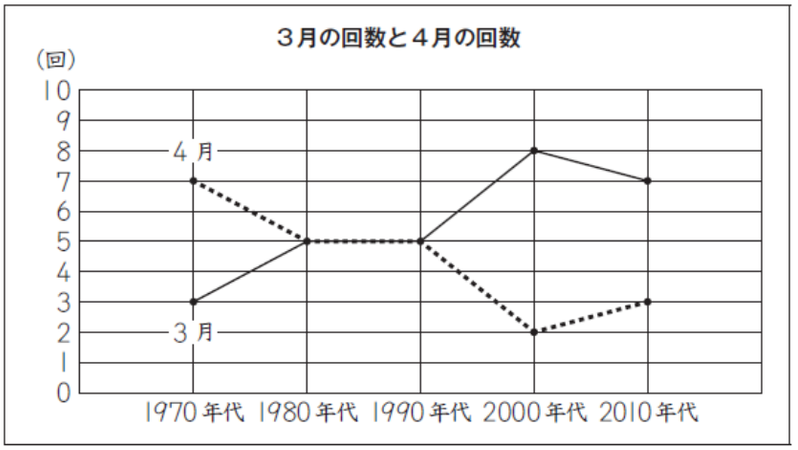
目的に応じたデータの分析を見通したり、分類整理したりすることができていました。

児童の身近な場面では、勘や個人的な経験則を頼りにするだけでは、妥当な判断ができないものがあります。根拠をもって話し合う習慣が今回の結果に結びついたのではないかと考えられます。普段の授業において、データを収集分析し、統計的に解決することを、今後も大切にしてまいります。

【成果が見られた設問】

(3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下のように折れ線グラフに表しました。



こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

こうた

1970年代は、3月の回数より4月の回数のほうが4回多いですね。

ひなの

3月の回数と4月の回数が同じ年代がありますね。

しおり

3月の回数と4月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

<考察>
折れ線グラフを読み取り、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代がいつで、その違いが何回かについて記述する問題です。

全国の結果と比較すると、7.7ポイント上回る結果となりました。

この結果から、グラフから読み取ったことを記述することに一定の成果が出ていると思われます。一方で、無回答率は13.8ポイントという結果にもなりました。

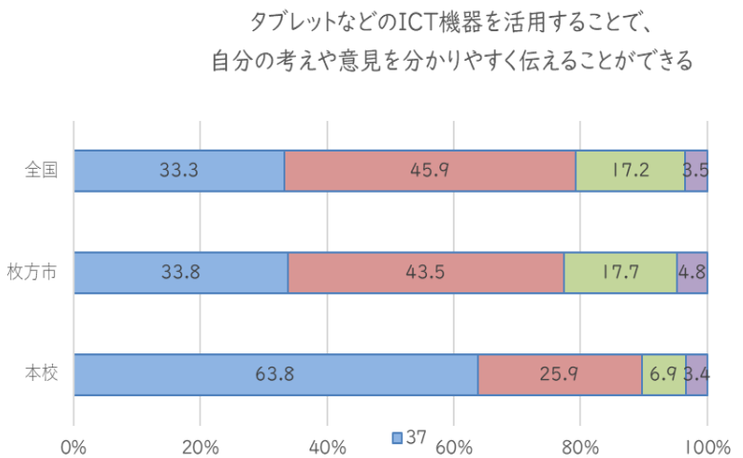
授業では、グラフの傾きや重なりなどに着目し、データの特徴や傾向について捉えるとともに、折れ線グラフの数値を正しく読み取り、求めることが、問題解決の根拠となります。グラフのどの部分やどの数値を基に判断したのかを、他者に分かるように伝えることにも取り組んでいきます。

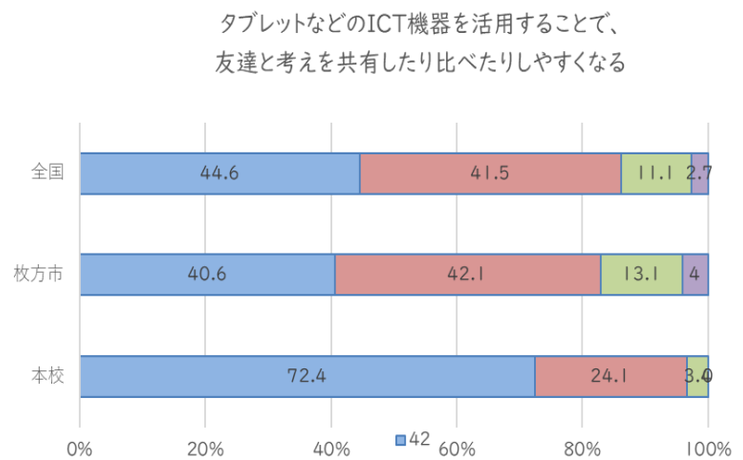
質問紙調査の結果

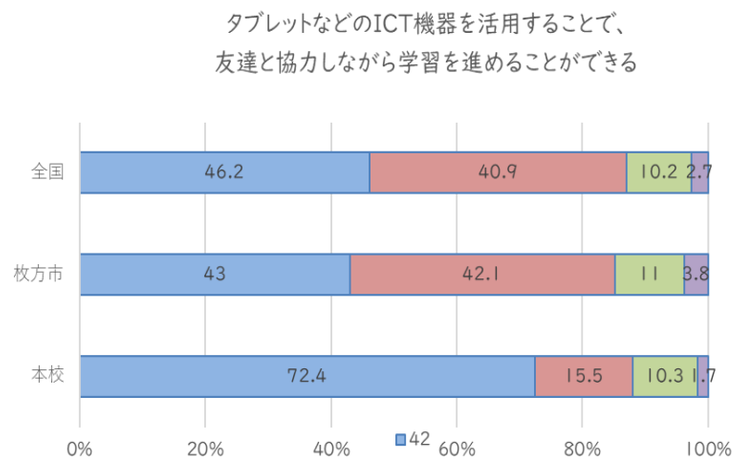
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果が見られた項目】







＜考察＞

タブレットの導入により、ICT機器を活用した授業づくりを推進してまいりました。

質問紙の結果から、ICT機器を使って、考えの比較や共有と発表や説明することが概ねできるという結果となりました。

低学年から系統的に指導を積み重ね、タブレットを筆記用具と同様、ツールとして使いこなしていると言えます。

今後も学年に応じた指導を続けてまいります。

分析結果を踏まえて取り組んでいくこと

（１）授業改善について

本校では、これまで行ってきた校内研究の成果を、他教科でも応用できるよう取り組んでいます。自身の考えや根拠を示し、話し合ったり、何かを決めたりすることは、授業だけでなく生活のいたる場面でも行われます。

しかし、今回の学力調査において、一定の成果が認められた半面、設問の条件を満たした上で、自分の考えが伝わるように書き表すことに課題のある児童も見られます。そのため、分析結果を踏まえ、以下のことに取り組んでまいります。

漢字や計算力など、基礎基本の力はこれまで同様、オビタイム（朝学習）で培っていきます。

また、データを収集分析し、統計的に解決すること、グラフのどの部分やどの数値を基に判断したのかを、他者に分かるように伝えることにも取り組んでまいります。

そして、話し合いの場面では、自身の意見の根拠となる事実や記述を意識するよう、聞き手、話し手ともに意識する指導を今後も大切にしてまいります。

枚方全体では、個別最適な学び、協働的な学び、自由進度学習について推進しています。本校としても、校内研修や他校の視察なども行い、取り組んでまいります。

（２）家庭学習について

宿題では、基礎・基本の力の定着だけではなく、学年に応じ、次の授業につながる※シームレスな学びも行っています。

（※シームレスとは、「途切れない」「なめらかな」という意味です。）

読書に関する校内のアンケートから、本を借りて読んでいる肯定的回答が78％という結果がでています。

ご家庭においては、親子で読書に親しんだり、子どもが興味のあること、調べたいことなどの話しをしたりすることで、読書が自身の考えを広げるツールであることに気付いたり、目標を持って取り組んだり、学ぶことを楽しんだりできるよう、ご協力お願いいたします。